

経営分析 II

科目ナンバリング MAN-326
選択 2単位

石毛 宏

1. 授業の概要(ねらい)

経営分析IIでは、経営分析Iで学んだ経営分析の基礎的なフレームワークを踏まえ、経営管理のための財務分析、キャッシュフロー分析、セグメント情報の活用、原価計算とコスト管理、損益分岐点分析、企業価値評価などを学んでいきます。これらの応用手法の基本を学ぶことを通じて、経営分析が実際の経営活動にどのように活かされるのか、理解していきます。

企業の強み・弱み、その実力と課題を浮き彫りにし、企業の将来像を明らかにしようとする経営分析は、すべてのビジネスにとって基礎的な道具になります。

2. 授業の到達目標

- (1) 企業のさまざまな経営問題に経営分析の手法を活用できる
- (2) 企業の将来像に過去と現状を踏まえた的確なコメントができる

3. 成績評価の方法および基準

授業中の小テストの合計点をもとに評価します(100%)。テストでは、授業内容をきちんと理解したか、例題や宿題を修得したか、を問います。出席率も参考にします。

4. 教科書・参考文献

教科書

授業毎にレジメを配布します。また、テーマ毎の参考書は授業中に紹介します。以下は主な参考書です。

参考文献

森田 松太郎 (著) 『経営分析入門』(ビジネスゼミナール) 日本経済新聞出版社
佐藤 裕一 (著) 『ビジュアル 経営分析の基本』(日経文庫) 日本経済新聞出版社

5. 準備学修の内容

- (1) 関連科目(経営、会計など)の指示された事項を復習して授業に臨むこと
- (2) 配布されたレジメと参考書を読み返し、該当のクラス討議、例題を修得すること

6. その他履修上の注意事項

- (1) 簿記、会計学(財務会計)、経営学の他、管理会計やファイナンスの基礎を理解していることが望まれます。
- (2) 講義をよく聴くと共に、実際にケース(例題)を解いてみる必要があります。
- (3) 授業中のディスカッションでの積極的な参加(貢献)も期待しています。

7. 授業内容

- 【第1回】 財務分析から経営管理へ(1)経営管理手法を学ぶ
- 【第2回】 財務分析から経営管理へ(2)問題演習を主体に
- 【第3回】 キャッシュフロー分析とキャッシュフロー経営(1)分析の基礎を学ぶ
- 【第4回】 キャッシュフロー分析とキャッシュフロー経営(2)問題演習を主体に
- 【第5回】 経営分析のための連結財務諸表と連結経営の理解
- 【第6回】 セグメント情報と事業評価(1)情報の活用と分析手法
- 【第7回】 セグメント情報と事業評価(2)問題演習を主体に
- 【第8回】 原価計算からコスト管理へ(1)経営での原価計算+小テスト(1)
- 【第9回】 原価計算からコスト管理へ(2)コスト管理の実際
- 【第10回】 損益分岐点分析とその活用(1)分析手法と経営への応用
- 【第11回】 損益分岐点分析とその活用(2)問題演習を主体に
- 【第12回】 企業価値の評価(1)企業価値の理解とその推定手法
- 【第13回】 企業価値の評価(2)問題演習を主体に
- 【第14回】 経営分析の諸問題(1)企業のリスクと将来性
- 【第15回】 経営分析の諸問題(2)まとめ+小テスト(2)